

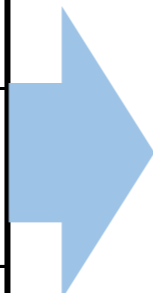
2023年 ガイドライン評価改善シート

施設名 (スタジオアルテ就労継続支援B型) 作成日時 (2023年9月27日)

代表	施設長	本部
印		

2023年度 改善への取り組み	利用者の特性に合わせた支援内容を更に充実させる
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが安心できる「場」の提供の継続 ・利用者1人1人の作業能力を向上し、売上アップ、工賃アップを目指す ・多くの人に知ってもらう為各イベントに参加。商品の見直し・新商品の開発

項目	事業所内評価を踏まえた上での問題点	事業所内評価を踏まえた上での改善点
環境・体制整備	職員間のコミュニケーションもしっかりと取れており、安定した支援を継続できている。作業スペースが広がったが上手く活用できていない。	利用の状況や作業内容によってスペース設け、集中できる環境を整える。その為常に整理整頓なども心がける。
業務改善	得意分野を活かしながら作業に取り組むことで作業効率が上がってきている。しかしながら大まかなスケジュールだった為、作業が予定より早く終わってしまった時などに戸惑う様子がみられた。	一日の作業スケジュールを明確にすることで、自身が確認でき、作業に取り掛かる事ができている。作業内容もファイリングし、全員が把握できるようにしていく。
適切な支援の提供	利用者の特性に合わせ、強味を活かした作業分担をしたことで、作業内容が偏ったり固定化してしまう利用者さんが出てきてしまっている。	アセスメントを定期的に行い、活動プログラムが固定化しないよう柔軟に組み合わせた支援内容を充実していけるようにする。
関係機関との連携	他事業所と並行して通所している利用者さんがいるが、お互いあまり連絡をとることが少ない。	他事業所や、相談支援事業所との連携も可能な限り取るように努め、作業だけではなく生活面についても適切な支援が出来ることを目指していく。
本人（家族）への説明責任等	連絡帳にて日々の様子を伝え、LINEWORKSも活用しているが既読されなかったり返信が無い場合もある。	面接時には作業評価表を作成し、作業内容を伝えつつ本人や家族の希望を聞き取るようにする。連絡を密にとるなど日頃から話しやすい環境作りを心がけコミュニケーションを図る。
非常時等の対応	施設の使用スペースが増えたため定期的実施する避難訓練で避難経路や災害時の実際の動き方などを再度確認する必要がある。	避難訓練を定期的に実施しており地域避難場所を使用した訓練も行っている。火を取り扱っているため火の元には十分気をつけるようにし、消火訓練も合わせて行うようにしていく。



<p>分析検討してみたの事業所の強み</p> <p>得意分野を活かし作業に取り組むことで作業効率も上がり安定した商品提供が出来るようになってきている。利用者一人一人がその日の作業内容をスケジュールに記載することで自ら確認し動くことができています。施設の使用できるスペースが増えた為、作業する場所を明確化することで利用者にとって集中できる環境を与えることができる。</p>	<p>分析検討してみたの事業所の改善点</p> <p>利用者特性にあわせたスケジュールが固定化してきてしまった為、柔軟な作業内容や余暇などを充実していけるようにする。その為には本人や家族の要望を聞き取り、コミュニケーションをとりながら出来ることを提案していく。</p>
<p>事業所の改善への取り組み</p> <p>利用者のアセスメントを定期的に行い、それぞれにあった作業内容を提供しながら活動プログラムが固定化しないよう柔軟に組み合わせた支援内容を目指す。また、生活面においても適切な支援が出来るよう他事業所や相談支援事務所との連携も可能な限り取る様に努める。作業内容によってスペースを分けることで、集中して作業の出来る場を提供することが出来るようになった。その為物の配置や道具の片付け場所が大きく変わったので分かりやすい動線上にて整理整頓を心がける。地域交流や事業所の事をもっと多くの人に知ってもらう為イベント等に積極的に参加する。</p>	
<p>自己評価を行ったの事業所としての感想など</p> <p>・施設のスペースが広がり、活動スペースも十分に確保できるようになったので保護者の方々に見ていただける機会を設けたい。しかし未だ利用者、スタッフ共に道具の位置や場所の周知が出来ていないので、使いやすさ、分かりやすさなどを皆で考えながら環境を整えていきたい。・保護者や本人のご意見ご要望を支援に活かす為にもLINEWORKSや送迎時などにもっと多くのコミュニケーションを図ることが必要だと考えられる。</p>	

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが安心できる「場」の提供の継続 ・関係機関や保護者との情報共有・連携の強化 ・個々の強みを活かした作業の充実化・能力の向上→能力給、評価にて工賃アップを目指す
----------	--